

がくいんふくいんか
学院福音化的メッセージの序論で3つのことについて語られました。

1. ^へブン スローン ⇒ パワー、タレント、ミッション

みざ (御座) ちから (力、タレント、ミッション)
御座から来る力、タレント、ミッションを発見して味わいましょう。

2. 5分 + リズム + 刻印(24) = 25, 00

その御座の力を5分くらい黙想して祈るサミットタイムを持ちましょう。
3, 9, 3: 三位一体の神様と5つの力、3時代(牧会者時代、重職者時代、レムナント時代)
について祈りましょう。

そして、それが私の身についてリズムとなり、24時になって刻印になるまで続けましょう。

そうすれば、私とは関係ない、神様の時刻である25時、永遠という時刻表が私たちに来ます。

3. メモ + 作品

それが、私の人生のメモとなり、永遠に残る作品になります。

そこで、御座の力はなにか、メモはなにかを見ます。



1. 御座

1) 三位一体の神様(父、御子、御靈)が私とともにおられる

御座は、三位一体の神様がおられるところを表現したことばです。

神様がどこにおられると思いますか。

神様は私たちとともにおられるのです。

すでに私たちとともにおられるので、どこかを探して、見上げて求めるのではなく、

2) すでに私の中に神の国が臨んでいます。

礼拝のとき、「天にまします、われらの父よ」と言いますが、「天にまします」というのは、どこだと思っていますか。「天」は、ギリシャ語では複数形です。父である神様が私を天として、私の中におられるという意味です。私を神の国として臨んでおられるのですが、どうやって、そのように祝福されたのでしょうか。

ただ、イエス・キリストを通してできたことです。

2. 御座の力

御座の力は、どこからか来る力ではなく、私の中からあふれ出る力です。
私が努力して持つ力ではなく、私の環境、背景、知恵、知識と関係なく、私とともに
おられる神様からの力です。

イエス・キリストを通して、私たちは神様とともにいることができます。つまり、創世記
1:27の神のかたちが回復したのです。それゆえ、イエス・キリストが福音です。この世でい
ちばん喜びの知らせです。



1) ローマ 1:2-4

この福音は・・・私たちの主イエス・キリストです。

2) ローマ 1:16

福音は、ユダヤ人をはじめギリシャ人にも（つまり、全世界の人々に）信じるすべての人にとって救いを得
させる神の力です。

私が持っている御座の力は、神様の力であり、私が救われた力であり、私を通して福音が伝わり、信
じる人々に救いを得させる力です。

3) イエス・キリストが十字架を通して、私たちに救いを与えてくださいました。

I コリント 1:18

十字架のことばは、滅びに至る人々には愚かであっても、救いを受ける私たちには、神の力です。

この世を征服して、強い力で三团体を超える力を持つとするのが、御座の力のための祈りではありません。すでにこの世の創造主であり、主権者、主人である神様がともにおられるので、神様が私たちを通して
なさるみわざを待ち望み、祈りましょう。



3. メモ

御座の力であるイエス・キリストが、たましい、こころ、考えに刻印され、生活（残りの人生）
を通して他の人々に読まれること。これがメモです。

II コリント 3:2-3

2 私たちの推薦状はあなたがたです。それは私たちの心にしるされていて、すべての人に知られ、また
読まれているのです。

3 あなたがたが私たちの奉仕によるキリストの手紙であり、墨によってではなく、生ける神の御靈によって
書かれ、石の板にではなく、人の心の板に書かれたものであることが明らかだからです。

私たちには神様の力を持っていて、私たちを通してただ、イエス・キリストが読まれるように、毎日5分間
のサミットタイムを持ち、祈り、メッセージを默想することが大切です。それを続ける中で、ただイエス・キリストだけが刻印され、どこにいても、なにがあっても、だれに出会っても、イエス・キリストが私たちを通して現れるように祈りましょう。